



平成 30 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 大黒屋ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小川 浩平
 (コード番号 6993 東証第二部)
 問合せ先 財務経理部長 大村 正文
 (TEL. 03-6451-4300)

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 11 月 10 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,934	1,329	702	10	0.10
今回修正予想 (B)	20,242	914	249	△319	△3.18
増減額 (B-A)	△692	△415	△453	△329	△3.28
増減率 (%)	△3.3	△31.2	△64.5	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	20,556	493	△180	△287	△3.56

2. 通期連結業績予想の修正理由

平成 30 年 3 月期通期の業績につきましては、主要子会社である大黒屋の店舗商品売上高は、平成 29 年 10 月のリファイナンス後の在庫積み増しが、順調に進行しており、その効果が徐々に表れ、第 3 四半期末現在では、店舗商品売上高は、前年比 18.1%増収となっているものの、平成 29 年 11 月及び 12 月の売上高が、平成 29 年 11 月公表の業績予想の想定を下回りました。また、大黒屋では、通常在庫回転率を良好に保つため、企業間取引（本部売上：卸売）を実施し、在庫処分（卸売）をしておりますが、店舗在庫の充実を優先したことから、意識的に本部売上を抑えております。これらの状況を踏まえ、1 月以降の売上高を含め見直した結果、売上高を 477 百万円下方修正いたしました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費は、節約できているものの、店舗商品売上高の未達及び店舗商品売上高の売上総利益率が、計画を下回ったことによる修正となっております。

第 4 四半期におきましては、店舗商品の品揃えを充実させ、増収を目指してまいります。

英国 SFL グループの業績につきましては、第 3 四半期の実績が平成 29 年 11 月公表の業績予想の想定を下回ったことから、通期の売上高見通しを 214 百万円下方修正し、現状の状況を踏まえた業績に修正いたしました。

以上